

令和7年第2回江戸川区議会定例会一般質問発言事項

5 牧野けんじ議員

1 物価高騰対策について

(1) 低所得の世帯では消費税の負担が最も重い実態について。国に対して、物価高騰対策として消費税の減税を求めるべき

(2) 国の対策に先がけて、区独自の物価高騰対策として給付金やお米券などを支給し、自治体としての姿勢を示すべき

2 「中サービス・中負担」による区民負担増・サービス削減について

(1) 公共施設等の使用料の引き上げについて

① 今定例会に引き上げの議案を提出しなかった経緯は

② この間、示してきた引き上げ額は、どこでどのように検討されたのか？今後引き上げ額を変えることもあるのか

(2) 今後の説明と意見聴取のあり方について

① 検（健）診の自己負担導入や子ども食堂への補助廃止は、関係団体への事前の説明、意見聴取が不十分だったのでは

② 今後、タウンミーティングなど区民への直接の説明や意見交換の機会を設けるべき

- (3) 今後の基本的な考え方について、2100年を想定することと、今現在の施策見直しは、切り分けて検討すべき

3 学校施設の今後のあり方について

(1) 不適切分割発注について

- ① 区の情報発信より、メディアの報道が先行していることなど、発信のあり方について

- ② 平井東小の渡り廊下の施工業者は指名停止に該当するのでは

- ③ 建築物について、同様事例の7校の安全性についての認識は。「確認中」とは、いつの段階から、何を確認しているのか

(2) 学校改築の入札不調について

- ① 4回不調を受けて、区としての考えの表明、発信を。今後も改築校については、保護者会などのタイミングで、学校・保護者・地域に現況説明の位置づけを

- ② 仮設校舎についての基本的な考え方について。年3校ペースは改めるべき

4 篠崎地区の「高台まちづくり」高規格堤防事業について

(1) 上篠崎一丁目の寺院・墓地の移転補償について

(2) 新たな手法を用いて進める都県橋エリアの「まちづくり」について

① 高規格堤防を都市計画決定できるという根拠は

② 高台まちづくりの新たなモデル地区となっていることなどについて、住民説明は

③ 過去、区内の都施行の土地区画整理事業において、区の「まちづくり準備会」などにあたるような法定手続き外の住民参加の機会があったか